

蹄病について考える！

編集：宗谷農業改良普及センター
監修：宗谷地区農協生産事業専門委員会
発行：ホクレン農業協同組合連合会稚内支所



乳牛の蹄病は・・・

蹄病の健康確保は
とても大切！

蹄病が悪化すると著しく採食量が低下します。それと同時に食いつきが弱く濃厚飼料を中心とした選び食いが発生します。

蹄の状態がよくなないと・・・

- ・経済損失(乳量・繁殖・淘汰)
- ・管理上の不便
- ・福祉の問題(牛：不快・疼痛)

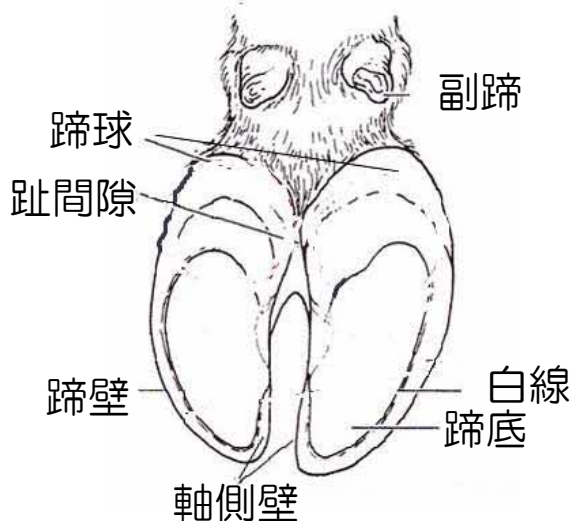
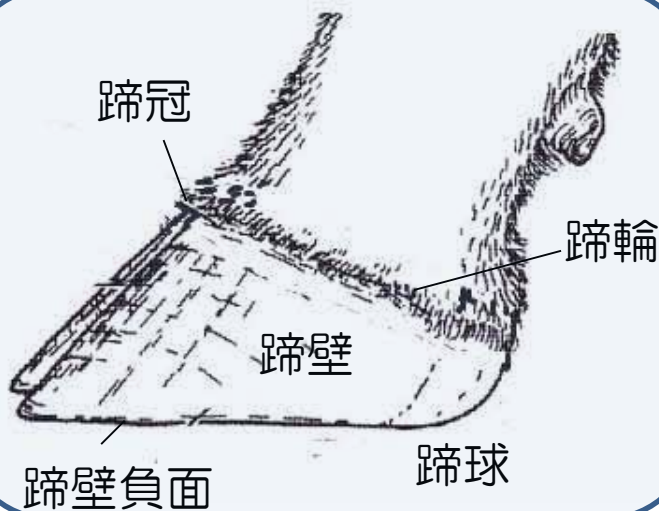
蹄病

- ・採食低下
- ・濃厚飼料過多

- ・栄養不足
- ・栄養偏り

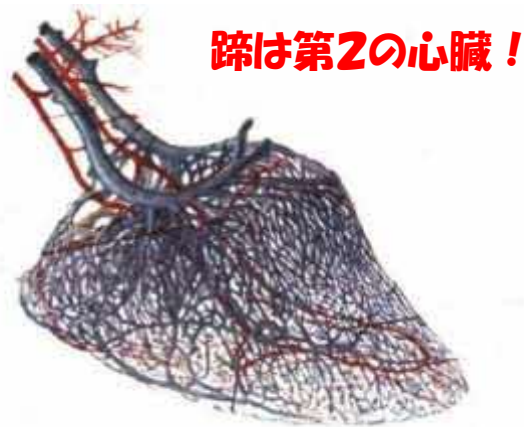
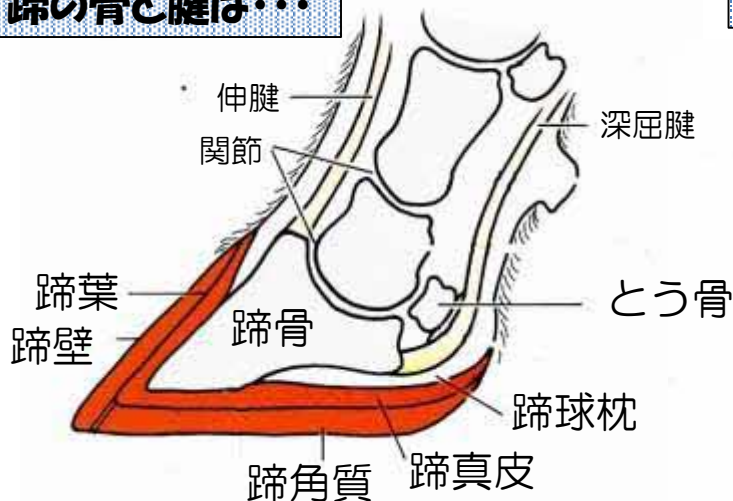
蹄の構造

底からみると・・・



蹄の骨と腱は・・・

蹄の血管は・・・



蹄病について考える！

蹄病の種類

○蹄角質の異常（負傷と栄養性）

主な原因は外傷と**栄養の偏り** → ルーメンアシドーシス

- 潜在性蹄葉炎
- 角質形成不全（蹄底潰瘍、白帯病）
- 創傷性蹄皮炎
- 蹄球びらん



栄養の偏り

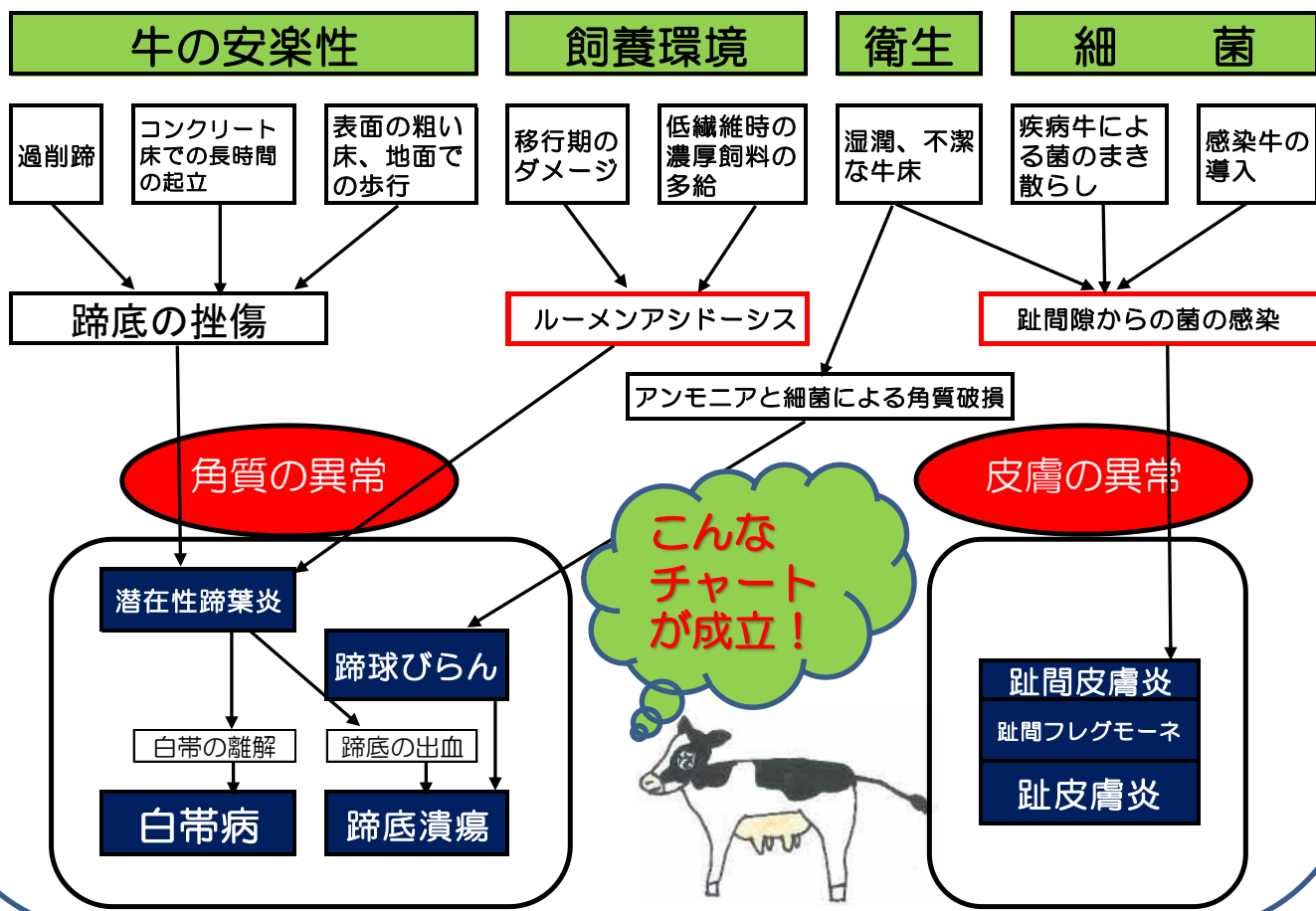
細菌による感染

○蹄皮膚の異常（感染性）

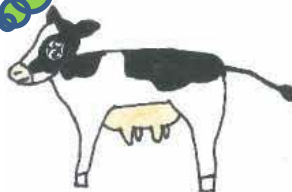
主な原因は不衛生と**細菌（感染）**

- 趾皮膚炎（DD）
- 趾間フレグモーネ
- 趾間皮膚炎
- 趾間過形成

蹄病は大きく
2つに分類！



こんな
チャート
が成立！



角質異常の蹄病

角質異常の「主要因」＝蹄葉炎

- 急性蹄葉炎（分娩後2か月程で発症）
 - ・ロボット様歩行
 - ・蹄冠部発赤、腫脹、熱感
 - ・蹄角質に著しい変化無し
- 慢性（潜在性）蹄葉炎
 - ・明らかな跛行はない
 - ・蹄底の出血、蹄底角質と白帯の黄色化
 - ・過長蹄・変形、蹄輪の形成、

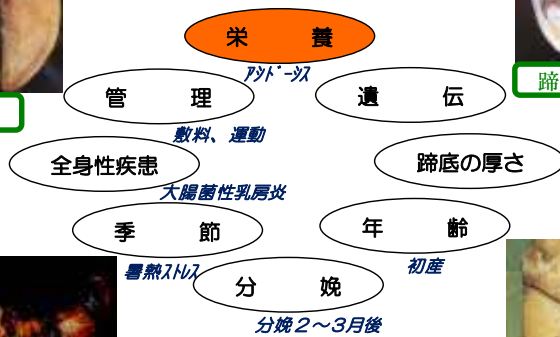


黄色化



蹄底の出血

蹄葉炎の危険因子



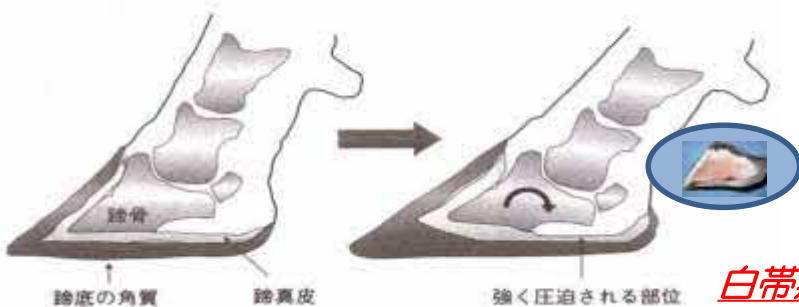
過長蹄、変形



蹄輪の形成

白帯病・蹄底潰瘍の原因となる！

蹄葉炎からの角質形成不全（蹄底潰瘍と白帯病）



白帯病、蹄底潰瘍は明らかな跛行を示す



後脚の蹄底潰瘍は
低カルにより伸屈腱がゆるむことで発生することが多い！
前脚の蹄底潰瘍は
ストールなどの施設不備による長い起立時間が要因であることが多い！

環境からの角質形成不全（蹄びらんと創傷性蹄皮炎）



- 蹄球びらん
 - ・不衛生で湿潤な環境や趾間皮膚炎が原因
 - ・通常は跛行を示さない



- 創傷性蹄皮炎
 - ・針金、釘など異物による角質損傷

刺さった釘

予防・処置

- ① 負傷しない環境整備
 - ・滑りにくい平らな床
 - ・石や障害物の除去
- ② アシドーシスの回避
 - ・飼料設計による粗濃比の適正化
 - ・十分な飲水
- ③ 定期的な削蹄

栄養バランスが大切なんだ！



皮膚異常の蹄病

趾皮膚炎（DD）・・・（別名：イボ状皮膚炎、有毛イボ、イチゴ腫）



- スピロヘータ（細菌）が原因
 - 伝染力が強く牛群に蔓延
 - 再発、蔓延し完治は困難
- 発症牛の割合を低く保つ管理が重要！



導入牛からの
感染も目立つ
よね！

趾間フレグモーネ・・・（別名：趾間フラン、フットロット、趾間壊死症）



蹄冠部の腫脹



腫脹・発赤・熱感



深部感染



- 細菌が皮膚の傷から皮下組織へ感染
- 湿潤環境と傷が原因

趾間皮膚炎



- 細菌の表皮への感染
- 跛行はない（軽度）
- 他の蹄病の原因となる

趾間過形成・・・（別名：趾間結節、趾間線維腫）



- 趾間皮膚への持続的な刺激が原因（内外蹄の高さのアンバランス）
- 跛行がなければ治療はいらない

予防・処置

- ① 清潔で乾燥した環境を提供
- ② 抗生物質の投与
- ③ 蹄浴（予防）
- ④ 定期的な削蹄

抗生物質が
効果的！

